

研修会

# 安全登山・地図読研修会

場 所 呉羽青少年自然の家

期 日 令和7年4月20日(日)

天 候 曇り

参加者 21名(男性11名・女性10名)

8:50 配布資料の確認と本日の日程説明

研修の目的とねらい

①なぜ地図読みが必要なのか ②地図の読み方 ③コンパスの使い方

開会の挨拶 T会長

高志山の会の目的は中高年登山者の遭難を防ぎ、安全で楽しい登山を目指している。当会の事故原因は①道迷い②転倒・転落が多く、低山が多い。近年スマホ地図アプリを利用される方が多いが、バッテリー切れ等で使用不能になった時頼りになるのが、紙地図である。本日は地図の読み方やコンパスの使い方を学んでほしい。

## 【講義】

9:00~9:30 「年齢に応じた楽しい登山を行うために」

読図とコンパスの使い方⇒読図とはなにか。なぜ読図が必要なのか。

県内・当会の山岳遭難の発生状況。時間帯は昼食後から15時頃に多い。

地理的北極と地磁気北極とは違いがあり、富山県の磁北は約8度のズレ。

午後からのウォークラリーの地図に磁北線を引く。

休憩10分

9:40~10:20 等高線の読み方

・地図が読めると登山がたのしくなる。リスクマネジメントになる。

行けるところが広がる。読図⇒等高線と整置(コンパスの使い方)

・地図からは地名、地図記号、等高線の情報が得られる。・地図は2万5000分の1を使用することが多い。

等高線の読み方や地図記号の知識は、登山アプリや紙の地形図、登山地図の形態にかかわらず、必要である。

休憩5分



講義の様子。みんな真剣です。



コンパスの使い方。野外練習の風景。

**10:25～11:20** コンパスの使い方 (実技)

机上練習⇒磁北線と磁針の合わせ方。進行方向の出し方。クロスベアリングの方法等を練習。

**11:30～11:45**

野外練習 青少年の家の前広場にて、コンパスを使い元の位置に戻れるか練習。

**11:50** 午後のウォークラリーの説明  
6班(3人一組)地図とコンパスを使いポイントを探し、答えを記入し戻る。

**11:55～12:40** 昼食

**12:40～14:30** 呉羽城山周辺にてウォークラリーの実施。



ウォークラリーの様子

**14:40** 青少年の家の前広場にて記念写真。

**14:50～15:00** 各班で反省会  
ウォークラリーを実践して、良かった点、改善点等について話し合い。

**15:00～15:15** 各班話し合いの内容について発表。

**15:15～15:25** I GCL、U・H GSL ウォークラリーについてのコメント

**15:30** 閉会の挨拶 S 運営委員長  
山行には地図を持参してください。地図の入手はネットでも可能。  
スマホアプリも活用してみてください。

いつも山行はスマホの登山アプリを利用する。手軽で便利である。ただ、GPSが届かない場所もあるので、道迷いしないためにも地図が読めることが必要である。まずは、ザックの中に入れておくだけでなく、行き慣れた登山道で実践してみることが大切であると思った有意義な研修でした。ありがとうございました。

(記録者：T・S)